

平成19年度事業計画書

平成19年4月1日から

平成20年3月31日まで

平成19年3月

財団法人 ニューテクノロジー振興財団

平成19年度事業計画

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

・基本方針

当財団は、設立の趣意に掲げたとおり、国内における科学技術の振興を図るとともに、その成果を広く普及させることによって、長期的展望に立った国内産業の基礎技術力の向上に寄与するとともに、海外との交流を強化することによって、広く科学技術や文化の各分野における国際的貢献に努めているところであり、人間と科学技術の調和を基調とした“ニューテクノロジー”を標榜して、新しいトレンドに先鞭をつけることによって、公益法人としての責任を果たして行く所存です。

このような基本方針のもとに、当財団は、従来から、創造的な研究開発のための環境整備の一環としての研究助成事業、総合技術としてのメカトロニクス及びロボティクスの普及啓発事業、社会的ニーズに応えるための福祉機器に関する研究・普及事業等を実施してまいりました。また、平成16年度からは新たに、人間と科学技術に関わる独自の調査研究事業を立ち上げ、産学連携のもと一貫した取り組みを行っております。

上記を踏襲し、平成19年度の事業としては、より人間寄りの観点から新規研究テーマを設定し、ゆたかな人間生活に資する科学技術の可能性を拓くべく、諸調査研究事業に着手し、その成果を広く世に伝えてまいります。また、人間とロボットが共存する社会のさらなる発展を視野に新規知能型ロボット競技を創設するなど、21世紀に期待される先端技術としてのメカトロニクス及びエレクトロニクス並びに関連のソフトウェアの開発・普及と国際的交流を図るための諸事業を実施するものとします。つきましては、以上の諸事業を拡充するため、職員を増員し、積極的に推進することにいたします。

・総務

1．会議の開催

(1) 定例理事会の開催

第43回 平成19年6月

第44回 平成20年3月

(2) 定例評議員会の開催

第42回 平成19年6月

第43回 平成20年3月

・事業の実施計画

1．科学技術に関する調査研究・助成事業

(1) 「人類遊び研究所」の調査研究等受託

「人類遊び研究所(所長:東純ナムコ社長、副所長:石川祝男 BNG 社長)」とは、旧(株)ナムコ(現在は(株)バンダイナムコゲームスと新(株)ナムコ)が“遊び”の本質を探究・研鑽するため設けた社内活動機関であり、当財団では同研究所が行う下記の調査研究等を受託いたします。

「ゲームの処方箋」プロジェクトの推進

当財団ならびに(株)バンダイナムコゲームス、(株)ナムコ、早稲田大学国際情報通信研究センター及び東京大学先端科学技術センターと共同で、従来より推進している「ゲームの効能」に関する研究、こども向け「遊育施設」に関する基礎調査等について、継続して研究を実施するとともに、本研究成果を広く発表いたします。

五感と遊び研究会の事務局業務

(株)バンダイナムコゲームス、(株)ナムコの社員を構成員とする社内研究会を設置し、“遊び”における「五感」の重要性を体験・研究を通して認識し、それを応用した新たなコンテンツ制作や施設を提案いたします。

ASO研フォーラムの事務局業務

広く内外から第一線で活躍する人材を講師として招き、“遊び”に関連した様々な話題の提供と議論を行う(株)バンダイナムコゲームス、(株)ナムコ両社の社員を主な対象に社内フォーラムとして実施いたします。

(2) その他の調査研究

産学連携の研究会設置

(株)ナムコ等、企業や大学との産学連携による研究会を設置し、光トポグラフィの活用方法に関する福祉や遊びへの応用について調査研究を行うとともに、将来的な共同研究テーマの検討を行います。

その他、産学連携による調査研究ならびに外部公益法人等からの受託調査研究等を積極的に行ないます。

2. 科学技術に関する普及・助成事業

(1) メカトロニクス技術の普及活動と助成

マイクロマウスをはじめとする技術競技会の開催等を通じて、メカトロニクスおよびマイクロエレクトロニクス技術の普及を引き続き推進します。

第28回全日本マイクロマウス大会の開催と助成

本年度は、つくば市との共催により、全日本マイクロマウス大会を下記の通り実施します。また同大会において、屋外型新競技(仮称:ロボットラリー)を新たに設け、トライアルの開催を行い、実社会における実用的なロボット技術開発への足掛かりとなるべく社会喚起を促します。

略 称：マイクロマウス2007

期 間：平成19年11月16日(金)～18日(日)

場 所：つくば国際会議場(茨城県つくば市)

助成内容：競技入賞者に研究助成金

マイクロマウス地区大会、技術講習会、こども向け工作教室等の開催と助成

期 間：平成19年8月～11月

場 所：東京都・港区他

助成内容：地区大会等開催費

ロボスプリント競技の普及

昨年より競技会を実施している入門用新競技「ロボスプリント」の普及を行います。
また本競技用の工作キットを開発し、より一層の普及と底辺の拡大を図ります。

(2) その他の普及活動

広報事業

財団設立20周年を記念事業として、当財団事業の新たな可能性や方向性を示すとともに、情報発信の核として、ホームページを再構築いたします。

また、ホームページへの情報掲載を積極的に実施するとともに、メールマガジンの発行や各種のメーリングリストの運営により、情報提供サービスを積極的に推進いたします。

第6回全国こども科学映像祭の開催

昨年に引き続き、こども達の手による科学映像を表彰する全国こども科学映像祭を通して科学技術全般の普及活動を行ないます。

共 催：財団法人日本科学映像協会、独立行政法人科学技術振興機構

募集締切：平成19年10月末日（予定）

表彰式・上映会：平成20年1月（予定）

場 所：日本科学未来館（予定）

3. 科学技術に関する情報交流・国際交流

(1) 「International Conference on Intelligent Robots and Systems 2007」（知能ロボットとシステムに関する国際会議2007：略称 IROS2007）の共催と協力（準備中）。

当財団設立20周年の記念事業の一つとして、「IROS2007」が同じく20周年を迎えることから、今年の会議の中に当財団がサポートする新たなセッション「ロボットとエンターテインメント（仮称）」を新設し、新しいエンターテインメントを実現し得る新技術提案の学術的な発表の場とすると共に、優秀な論文の表彰をする等を計画。

(2) その他の交流活動

上記のほかより一層の情報交流、国際交流をはかるべく、常に交流の場の創造に留意していきます。

以上